

整理番号 S-8

出 展 織物欠点解析事例集

欠 点 名 たて縞(撚異常)

品 名 ポリエステル紋綸子

試料形態 織物

組 織 紋

糸 使 い

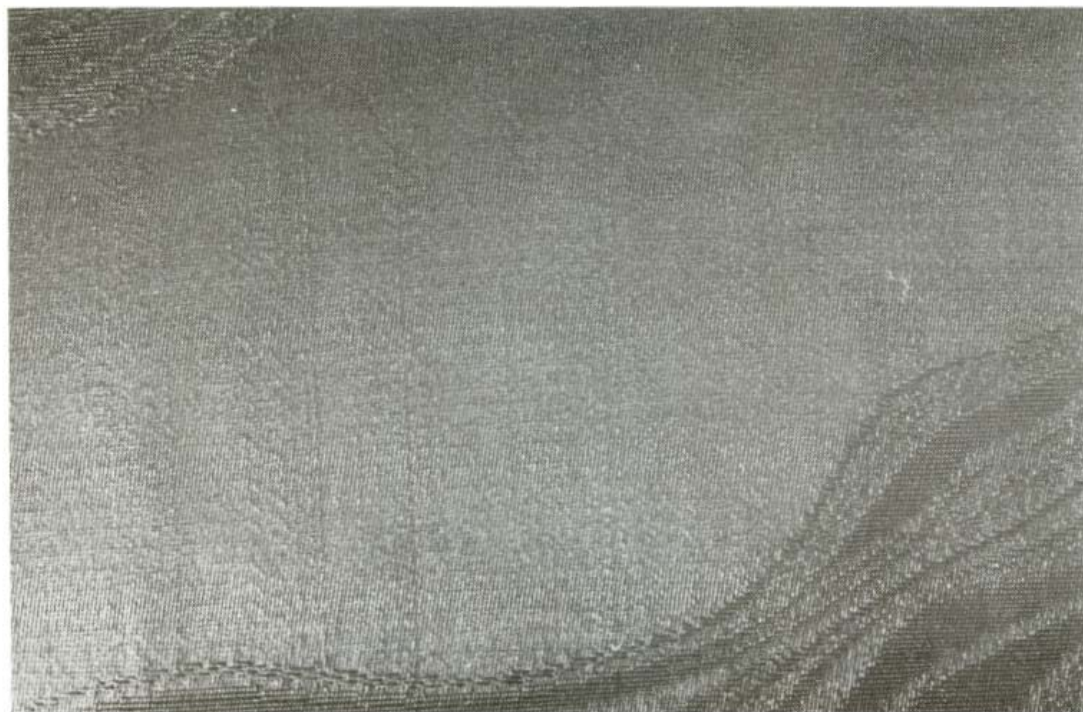
たて糸:ポリエステル 30d×2 上撚(Z)700T/m、下撚(S)1,000T/m

よこ糸:ポリエステル 50d×2 上撚(Z)700T/m、下撚(S)1,000T/m

欠点発生状況

縞欠点が織物全面に不規則な縞模様となって現われている。生機ではこの欠点は発見できず、染色加工後に現れたものである。

試料写真



試験結果

(1)撚数測定

(2)織度測定

(3)強伸度測定

(4)収縮率測定

(1) 撚 数 (T/m)

上撚(Z) 下撚(S)

696 - 996

744 - 1048

712 - 1040

720 - 1148

648 - 896・

736 - 884・

696 - 892・

684 - 888・

732 - 840・

728 - 1032

700 - 1016

728 - 1048

⋮ ⋮

(2) 平均織度(d)

正常部 60.3

欠点部 61.8

(3) 強伸度

正常部 131.2 g 25.6 %

欠点部 111.0 20.0

(4) 収縮率(%)

正常部 0.4

欠点部 0.6

平均値

上撚り 下撚り

正常部 714.2 1023.3

欠点部 699.2 880.0

所 見

検撚の結果、上撚りには異常はないが、下撚りに差異が認められる。欠点糸は正常糸に対して約 140T/m の甘撚りとなっている。欠点部分を拡大観察すると、たて筋糸は浮き上がっており、たて筋糸を中心にジャミ(チ力のような現象)が入っている。これらの現象はたて糸の撚数差からくる収縮斑によって生じたものと考えられる。